

⑦8 3次元点群データのオープンデータサイト (PointCloud DB) 開設

受賞機関 静岡県 交通基盤部 建設支援局
建設技術企画課

キーワード 3次元データ、オープンデータサイト、多様な活用

全建賞審査委員会の評価ポイント

インフラの維持管理や災害時の被害状況の迅速な把握を目的に「3次元データ保管管理システム」を開設した取り組み。インフラ施設への利活用だけでなく、森林資源量調査、建築物調査、自動運転等、他分野での活用が見込まれる3次元点群データを広域に収集し、オープンデータとして誰でも利用できる機能を備えたシステムを全国で初めて開発した点が評価された。

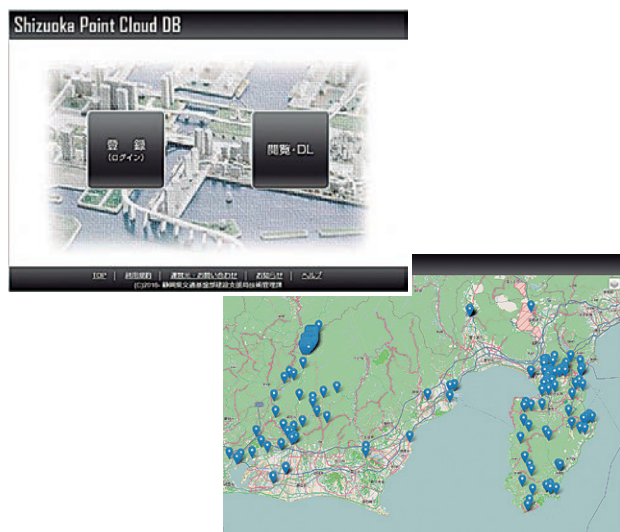
1. はじめに

静岡県では、国土交通省が推進するi-Constructionの取り組み開始を受けて、将来的に3次元点群データの収集・利活用が本格化することを想定し、全国に先駆けて開設したオープンデータサイトについて紹介する。

2. 事業の概要

3次元点群データの収集・利活用に向けた環境整備として、本県では、3次元データ保管管理システム(PCDB)を構築し、誰もが自由に二次利用できるオープンデータとして3次元点群データをダウンロードできる全国初のサイトとして公開した。

本県では、ICT活用工事の完成時に3次元計測を実施することとしており、オンラインで本サイトに登録する運用としている。登録されたデータは、オープンデータとして公開していることから、施設の維持管理や災害時の被災状況の把握などのほか、自動運転など新たな分野での活用も見込まれる。



静岡県3次元データ保管管理システム

3. 事業の成果

3次元点群データを公開したことにより、官民連携による新たな取り組みを開始することができた。

1) 自動運転実証実験への活用

自動運転の実現に重要な技術と言われている高精度3次元地図の生成・提供を行っているダイナミックマップ基盤株式会社と「自動走行システムの実現に向けた連携・協力に関する協定」を締結した。

昨年度、行政が保有する3次元点群データを活用した全国初の自動運転の実証実験を実施した。



自動運転の実証実験

2) 観光・地域振興への活用

県内の伊豆急行線や富士山静岡空港において、3次元点群データを活用した保守管理業務の省力化に取り組んでいる東京急行電鉄株式会社と「3次元点群データ利活用に関する連携協定」を締結した。

今年度、伊豆での観光型MaaSにおいて、下田市内における自動運転の実証実験を連携して行う予定をしているほか、観光サービス事業への活用を検討している。

3) 施設管理効率化に向けた新技術の導入推進

国土交通省が進める自治体における効率的かつ効果的なインフラメンテナンスの実現に向けた新技術導入推進の仕組みの検討に、モデル自治体として選定を受け、施設管理への現場検証を実施している。

4. おわりに

3次元点群データの利活用は、現在発展途上の分野であることから、引き続き、データの収集と公開を進めることで、今後も多業種の民間企業の参画を促進し、積極的な取り組みの拡大を行う。